

感染症に対する未就学児の現状と対応について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 RS ウイルス感染症の症状と現在の感染状況について。

答 RS ウイルス感染症は乳幼児に多く見られる呼吸器感染症です。2歳までに感染し、一度ならず何度も感染する可能性があり、初期症状の発熱や咳、倦怠感や潜伏期間、感染経路など新型コロナウイルスと似ており、見分けが付きにくいとされています。市内では8月前半まで流行傾向にありましたが、9月第1週目以降は発生していません。

問 新型コロナウイルス感染症とその他感染症の対策と対応について。

答 同居家族の新型コロナウイルス感染に加え、園児のRSウイルス感染やそれ以外の発熱や倦怠感がある場合は、自宅待機し出席停止をお願いしています。

問 未就学児の新型コロナウイルス感染症陽性者数及び重症者数について。

答 県の公表では、未就学児は10歳未満として公表されます。市が把握する内容としては、今年4月から8月までの市内の10歳未満の陽性者は4名で、全員が同居家族の濃厚接触者でした。こども園や学校からの感染報告はなく、無症状2名、軽症2名でした。

問 感染予防の基本的対応は重要だが、対応が困難な家庭の状況など現状をどうお考えか。

答 保護者の方の大変な状況は理解していますが、コロナ禍をみんなで乗り越えるために、各こども園の個別対応ではなく市全体の統一した対応としていきたいと考えています。

問 長期化するコロナ禍における今後の対応について。

答 現場の職員の声に耳を傾けながらできる限り支援するとともに、保護者の方には引き続き丁寧な説明を行っていきます。

要望 新型コロナの終息はまだ見通せませんが、教育委員会は園と保護者をつなぐ役割を担っていただき、コロナ禍を乗り越えていただくよう切望します。

加西市・加西市民と自衛隊との良好な関係づくりについて



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 民生安定のため、防衛施設周辺整備事業として補助金が交付されているが、西村市長就任以降の状況について伺いたい。

答 平成23年度以降、市民会館文化ホール耐震改修が5か年で2億9,464万円、コミセン耐震改修が4か年で2億6,897万円。繁陽地区コミュニティ施設が2か年で1,960万円、鶉野中地区コミュニティ供用施設が3か年で2,352万円となり、補助金の合計は6億673万2,000円です。

問 防災無線整備の補助申請と事業採択の見通しについて。

答 九会地区と富合4町の防災無線整備については、今年5月に令和4年度予算の概算要求に必要な書類を提出し、細かな調整等に対応しながら、予算の内示結果を待っている状況です。

問 加西市全域の防災無線整備についての考えは。

答 市としても市全域で整備すべく、防衛施設周辺整備事業で行う九会、富合地区の一部と併せ、令和3年度から令和7年度までの5か年計画で、実施設計や設備整備等を行うことにより、全的に整備して全市民に正確な防災情報を迅速に伝達できるよう考えています。令和2年度には、市全域を網羅する情報伝達システムの

基本設計を実施しています。

問 大規模な自然災害が発生した場合の自衛隊の部隊派遣要請について。

答 大規模災害における自衛隊の部隊派遣は、基本的には市長が知事に対して災害派遣要請を要求し、知事が防衛大臣に派遣要請して部隊が派遣されることになっています。ただし、派遣要請を受けるいとまがない緊急事態と判断した場合は、知事の要請を待たずに部隊派遣をすることができるとなっており、知事に連絡が取れない場合、市長からの連絡により駐屯地司令の判断によって部隊派遣が可能です。また、自衛隊の庁舎や営舎の近隣に災害が発生した場合、部隊長は必要に応じて部隊を派遣することができる近傍派遣も規定されています。